

学校関係者評価委員会

日本こども福祉専門学校学校 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価の結果に基づき、学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり報告致します。

[学校関係者評価の基本方針について](#)

1. 開催日時 令和6年5月20日(月)15:00～16:00

2. 場 所 日本こども福祉専門学校 402教室

3. 出席者

役職	所属	氏名
委員長	日本こども福祉専門学校 学校長	井口 明彦
外部評価委員	ニフィスこども園 主任	高崎 恭子 様
	株式会社星光堂薬局 販売教育部 部長	佐藤 学 様
内部評価委員	日本こども福祉専門学校 こども保育学科 学科長	金子 亜美
	日本こども福祉専門学校 くすり総合学科 学科長	佐々木 春奈
	日本こども福祉専門学校 事務局長	長谷川 美佳
書記	日本こども福祉専門学校 教員	羽鳥 巧
		菅 瑞季

4. 次第

プログラム	担当
(1)委員長挨拶	井口学校長
(2)出席者紹介	長谷川事務局長
(3)学校関係者評価 趣旨説明	長谷川事務局長
(4)自己評価結果に関する報告及び意見交換 (保育、くすりに分かれて)	【保 育】金子-高崎様(羽鳥) 【くすり】佐々木-佐藤学様(菅)
(5)振返り	金子、佐々木

1. 学校の教育目標

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知がなされているか	2
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

- ・学校案内等で表現されている。目指す資格については明確。

(3) 今後の課題等

- ・新任職員との共有や、リニューアル等
- ・周知する機会自体はない

【学校関係者評価】

- ・学校の理念などは学生自身や保護者に周知されていないことについて
→保護者説明会(試験やルールなどの周知)を行っている。挫折とか味わうかもしれないし、ここで勉強することに自覚を持てるように学生自身や保護者にも周知していきたい。

2. 学校運営

(1) 自己評価

	自己評価	結果
--	------	----

1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
3	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
5	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

・特段、困るようなことはないが、運用重視で規則との乖離が出ている。令和6年度版から見直しをしたが、特段変わらず。

- ・法整備も手伝い、情報公開が果たされてきている
- ・Google Workspaceを活用し、格段に進展した

(3)今後の課題等

- ・4年に1回くらいリニューアルが必要。

【学校関係者評価】

・運営方針について、こども保育学科として、大学や学部が作られていたり、学校が増えるなかで、明確にしつつ学生を卒業まで導くことはできているか。

→変わらずに押していきたいことは、実践力。大学と専門学校の違いとして実践力で勝負していく。そのために、今の学生を育てていく。

3. 教育活動(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4

2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

・業界関係者を非常勤講師として迎え、関連分野の先端的な知識・技能等を身に付けることができている。また、各教員がそれぞれの専門分野の研修に参加している。

(3)今後の課題等

・職員の資質向上のための取組として、今後も積極的に研修への参加を促すとともに、学科・学校として環境(予算、授業調整など)を整えていくことも必要である。

【学校関係者評価】

・特になし。

3. 教育活動(くすり)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
2	教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4

12	関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・学科内で行われている。

(3)今後の課題等

- ・より効果のある評価方法に変えていきたい

【学校関係者評価】

- ・授業評価は誰がやっているのか
→定期試験で7割以上全員がとれているかを基準としている
担当科目の教員と学科長で改善点等を話し合っている
授業後の学生からのアンケートはとっていない(アンケートにしてみると、思うような結果が得られないため、本音を出しにくいいため意味がないのでは)

4. 学修成果(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・学生・保護者との面談等を積極的に行うなど、可能な限りの支援体制をとって退学者の低減に努めているが、退学率は0%ではない。
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価について、動向を把握している卒業生と把握していない卒業生がいる。

(3)今後の課題等

- ・相談体制・支援体制を充実させ、退学率が0%になるように対応する必要がある。
- ・卒業生の就労状況(活躍や継続)を把握・調査し、卒業生への支援体制を充実させる。

【学校関係者評価】

- ・特になし。

4. 学修成果(くすり)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・気になる学生は保護者に連絡をし連携して対応している

(3)今後の課題等

- ・退学要因が多様化しているため、それぞれの学生に対応できるよう1on1で早い段階から対応できるようにする

【学校関係者評価】

・自己評価4の結果が2の理由

→生徒と保護者への説明の場が入学式の時しかないため。

くすりは入学式と保護者面談を行っている。2年生になると問題のある学生のみしか保護者と連絡は取っていない

・退学率の低減について

→入学生が多い学年で4人程でてしまった

退学理由も多種多様(進路変更、学校に通うことが難しい、家庭内、精神面の問題)、勉強は嫌いだけど学校は好きな子が多い

→退学しそうな子へのフォロー面談はしているか

2ヶ月に1回程、1on1という担任と話す場をもうけている、明らかに問題の子は別で場を設けて話している

→就職後もメンタルで休職を取る方も多い(復帰する方もいれば退職する方もいる)

→トップスも今年から1ヶ月に1回新入社員にアンケートをとっている

5. 学生支援(保育)

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

・卒業生への支援体制・再教育プログラム等は必要に応じて個別に行われている。

(3)今後の課題等

・学科・学校で体制づくりをし、充実させていく必要がある。

【学校関係者評価】

・個別対応されていることで、学科で何をしているか

→卒業生個人や実習巡回等で話をする。しかし、連絡先を知らずにそのままの学生もいる。また、卒業してもピアノを教えてほしいなど相談事をする方もいるが、教員の負担もある為、難しい。

5. 学生支援(くすり)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4

7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
11	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行なわれているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・個別対応

(3)今後の課題等

- ・個別対応では足りない内容が出てきた場合に対応予定

【学校関係者評価】

- ・卒業後の就職先について保護者に説明しているか
→入学式後の説明会で伝えている
- ・再教育プログラムについて
→卒業生が学校に訪れて登録販売者としての仕事を話す場を設ける
→しっかりと話を聞いて将来像をつかめれば退学率の低減にもつながるのではないか

6. 教育環境

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・参考書等図書が不足している
- ・火災の想定のための整備

(3)今後の課題等

- ・改定版がでている図書の購入
- ・不要図書の整理
- ・震災も想定したものを整備

【学校関係者評価】

- ・特になし。

7. 学生の受入れ・募集

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行なわれているか	4
2	学生募集活動は適正に行われているか	4
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

- ・適切に行われている。

(3)今後の課題等

- ・特になし。

【学校関係者評価】

・テクノ生除くと44名と少し減っている。学生もニフイスでよかったと思ってほしいし、→高校生にニフイスに入りたいと思ってほしい。

難しいのは、現在の高校生の「雰囲気」を選ぶ点。漠然としているイメージを持つ高校生が多いということ。

しかし、保育以外にも福祉のことにも興味がある高校生も増えていて、エールなどにも繋げることができる。

→ニフイスこども園があることで、どんなメリットがあるのかななどをOCで伝えている。

また、教員がニフイスこども園に行くことで、学生に伝えられることも内容も増えたことで学びが深まる。

→こども園、エールの良さを活かしていきたい。子どもと関わる人が多いことも伝えていきたい。

→他の学校の強みは何だろう？高校生に響くのは何だろうか？

実習の数や少人数制、福祉(手話、児童養護、病児保育)などに力を入れているため、ニフイスは保育に特化していきたい。ただ、広い範囲で勉強をする事は違うと感じる。

・入学者の人数が軽減した

→広報担当者をメインに高校訪問やガイダンスを行っているが、ガイダンス自体に「登録販売者」の枠がなく、場が少ない

→ドラッグストアには必ず必要となるからもう少しいてもいいはずなのにな...男も...もう少し高校に働きかけたい感じはする

8. 財務

(1) 自己評価

	自己評価	結果
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2) 現状

・適切に行っている。

(3) 今後の課題等

・特になし。

【学校関係者評価】

・特になし。

9. 法令等の遵守

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

適切に行っている。

(3)今後の課題等

特になし。

【学校関係者評価】

・特になし。

10. 社会貢献・地域貢献(保育)

(1)自己評価

	自己評価	結果
--	------	----

1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

適切に行われている。

(3)今後の課題等

特になし。

【学校関係者評価】

・特になし。

10. 社会貢献・地域貢献(くすり)

(1)自己評価

	自己評価	結果
1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

(2)現状

適切に行われている。

(3)今後の課題等

特になし。

【学校関係者評価】

・特になし。

議事録(各学科取りまとめ)

[こども保育学科](#) [くすり総合学科](#)